

改憲を押し進める国民投票法案 に反対する意見

2006年3月28日

〒112-0002

東京都文京区小石川 2-3-28

DIK マンション小石川201号

自由法曹団

〈 目 次 〉

第1	今、なぜ国民投票法案か	1 頁
1	今国会に提出が予定される国民投票法案	1 頁
2	急速化する「改憲」の動き	2 頁
3	アメリカの世界戦略と「改憲」の動き	3 頁
4	憲法を支持する国民の声	4 頁
第2	国民投票法案自体の問題点	5 頁
1	国民投票を行う前提	5 頁
2	「国民投票法案」の問題性	6 頁
(1)	一括投票制では国民の意思は反映されない	6 頁
(2)	国民の考慮期間があまりにも短期間に限られている	7 頁
(3)	国民投票運動の広範な禁止	8 頁
(4)	「有効投票」の過半数とし最低投票率の定めを設けていない	11 頁
(5)	国民投票無効訴訟について	12 頁
(6)	未成年者、公民権停止者の投票権について	12 頁
3	最後に	13 頁